



# THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

## 三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mcrcl.server-shared.com  
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1  
三次グランドホテル  
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

### 2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム ゲスト講演 / プログラム委員会  
三次市教育長 迫田隆範様
- 次回例会日時 2023年4月24日(月) 19:00~
- 次回プログラム 地区・研修協議会報告

会長 / 沈 勝 義  
幹事 / 中 島 清 貴

●2022~23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022~2023年度 三次中央RCスローガン  
ロータリアンであることを強くイメージし、奉仕の喜びを分かち合おう

### ■第1380回例会記録

- 日時.....2023年4月10日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員

■開会挨拶.....沈 会長

## 金の価格について

皆さんこんにちは。今日の後半のプログラムは、久しぶりに会員卓話となっていますね。卓話をされる、阿部会員、武口会員、よろしくお願ひします。私も経験がありますが、皆さんの前で卓話するのは非常に緊張致します。でも、同じクラブの仲間として、皆さんの人となりを知ることができるよい機会ですから、とても楽しみにしています。あまり気を張らずに、リラックスしてお話してください。

さて、先週の火曜日「むらたけ総本家」にて、三次クラブの新宅会長、藤後幹事、石井SAA、そして当クラブ会長の私と、中島幹事、石田SAAの6名で、三次在郷ロータリークラブ合同例会の打ち合わせ会議を致しました。残念ながら吉舎クラブからの出席はありませんでしたが、決定された内容に従いますとの連絡を受けていましたので、3クラブでの合同例会が実施できるものと喜んでおります。日時は、来月の5月25日、三次クラブの例会日に合わせ木曜日としました。

場所は、ここ三次グランドホテルで、夜の7時に点鐘し、懇親会を含めて約2時間を予定しております。5月に入ると、国のコロナ対応方針も緩やかになることが予定されていますので、以前のよ様な宴席になるものと考えています。

先日のIMでも懇親会が開かれなかったように、今まで長い間辛抱してきましたが、今回の合同例会で、やっと他クラブの方とも交流ができるものと、今から楽しみにしております。

それに向けた対応としまして、4月5月6月に各1回の節約例会を計画いたしました。本日がその1回目となります。合同例会での追加の負担を少しでも軽減するため、ご協力をお願いします。

話題を変えます。皆さん、最近の金の価格ってご存知ですか？国際情勢など社会情勢が不安定になったり、インフレや株などの金融情勢が不安定になると、安定した金融資産として人気が集まり、価格が上昇するのが金です。田中貴金属のデータによると、純金1gの年平均取引価格は、バブル期の1980年には約4千5百円していたものが、バブル崩壊後徐々に値を下げ、2000年には約千円にまで下落しました。それからまた上昇し始め



ましたが、この数年は異常に高騰し、最近では9千円を超えました。

我が家には、昭和天皇 在位60年記念の10万円硬貨が一つあります。純金で20gの重さです。当時の金価格は1gが2千円程度だったので、金の価値からいうと4万円位だったのでしょうか。しかし現在の金相場だと18万円を超えてしまいます。お金を加工することは違法なのですが、通貨としては10万円なのに、溶かして純金にした方が価値があるなんて、ちょっと不思議な感じがしますね。ただ現実では金相場に連動して高値で取引されているようですけど…。

更に付け加えれば、私は持っていませんが、平成天皇即位記念の10万円金貨の重さは30gだそうです。

少し下世話な話題となりましたが、以上で会長挨拶を終わります。

■幹事報告.....中島幹事

- ロータリーの友、ガバナー月信を配布しております。
- 本日、19時よりグランドホテルにおいて次年度理事役員会を開催いたします。
- 5月29日の夜間例会は5月25日(木)に変更し、三次RC、吉舎RCとの合同例会といたします。19時から、グランドホテルです。
- 庄原RCより全員にバッジをいただいております。まだの方はお申し出ください。

■出席報告.....平田委員長

- 第1378回 3月20日

会員数	35名	Make-up	0名
欠席	6名	出席合計	29名
欠席者のうち規定免除	2名	出席率	87.88%

- 第1380回 本日の出席は35名中27名です。

■ロータリーの友読みどころ.....松本R情報委員長

横組みP.8~15 特集ウクライナリポート ウクライナで暮らしているロータリアンの世界中から寄せられた支援、お金、物品の配布等の仕事について紹介されています。如何なる理由であろうと、戦争は絶対あってはならないものです。

そして、P.16~17ではウクライナ支援、パキスタン洪水救援、トルコ・シリア災害救援等の基金について報告されています。

P.26~27 名前はどこから ムニエルとかソムリ

エ等の語源について、またうどんそばのメニューで「きつね」とか「たぬき」などと呼ばれたいたわけを面白く書かれています。

縦組みP.16 友愛の広場 福島喜三次(日本初のロータリアン)についての記事が載っています。

P.4~8 外務省医務官の中井呈子さんのアフリカ(セネガル)、キューバ、ベトナム等の海外での驚くような医療事情が書かれています。

ぜひご一読ください。

■SAA.....石田SAA

- 会員誕生日...酒井君、栗本君



- 会員ニコニコBOXご出宝

- 光永君 妻の誕生日に花をありがとうございました。(大)
- 武口君 妻の誕生日きれいなお花をありがとうございました。今日卓話します。短いですがよろしく(大)
- 圓道君 妻の誕生日に素敵な花束を送っていただき、ありがとうございます。(大)
- 酒井君 78歳になりました。まだまだこれからです。元気で頑張ります。(大)
- 栗本君 本日、誕生日です。(大)
- 沈君 久しぶりの会員卓話ですね。阿部さん、武口さん よろしくお祈りします。
- 井上君 会員卓話、阿部会員、武口会員、よろしくお祈りします。
- 沖君 阿部さん、武口さん、卓話ががんばって!
- 平田君 会員卓話、拝聴します。
- 小根森君 きょうは石田さんの代理です。ご協力ありがとうございました。

ニコニコBOX本日出宝額 26,000円

久しぶりの会員卓話です。本日は阿部会員と武口会員にお願いしております。よろしくお願いいたします  
井上幸三プログラム委員長

## 最近の葬儀事情

阿部 司  
Tsukasa Abe

ユウベル三次店  
副店長



11月に入会させていただいて以来、この場に立たせていただくのは2度目となります。

ユウベル(株)平安祭典 阿部と申します。コロナの影響もあり、皆様と交流を持てる機会が制限されておりましたが、ようやくウィズコロナからアフターコロナへと変わってきたことで、これからの活動を楽しみにしております。

改めまして自己紹介させていただきますと、広島市出身で昨年10月に転勤で三次にきて、10数年振りの大雪を経験しながら、あっという間に半年が過ぎました。

転勤当初はもちろん土地勘もなく地理も判りませんので、早く道を覚えるためにも、ドライブがてら何処かのお店に食べに行くという日々を毎日送っておりました。今ではナビに頼ることなく、ある程度は何処でも行けるようになりました。

これからの地域活動を通して、さらに行動範囲と見聞を広めていければ思っております。

私の生業は儀式で人生に一度しかない葬儀を取り扱っておりますので少し最近の葬儀事情をお話しさせていただきます。

コロナの影響もあつてか、一昔前に比べて直葬や家族葬の問い合わせが増えております。背景には東京をはじめとする大都市部における葬儀料金の高価格化があつたのは確かで、その反

動として従来の葬儀におけるコストと時間に対する合理化の追求が始まったわけです。

そこにマスコミが新たな葬儀の形として取り上げた事で、家族葬が言葉だけで走り出すようになったことは記憶に新しいと思います。

しかし葬儀で一番大事なことは「儀礼文化」の伝承で、この儀式文化の底に流れるのは、人間や命の尊厳であり過去から受け継ぎ、次世代へ受け継いでいくべき絆の象徴であると考えております。人間は30代遡ると21億人の先祖が存在します。その先祖がいたからこそ現在の自分がいるわけで、自分を存在させてくれた先祖を敬う気持ちによって築き上げられたのが「儀礼文化」であり、特に人生で一度しかない葬儀は、その文化が凝縮されていると考えます。

すこし固い話になりましたがこの点をもう一度考え直してみる必要があるのではないかと思います。

ロータリークラブにも深く長い歴史がございます。この場にいらっしゃる皆様が長年戦い守ってこられた伝統歴史を伝承すべく、私自身もこれから邁進していければと考えております。

拙い話となりましたが、これにて卓話を終わらせて頂きます。このような機会を頂いたことに厚く御礼を申し上げます。ご静聴有難うございました。



## 預金保険制度について

武口 純也

Junya Takeguchi

広島みどり信用金庫  
十日市支店支店長



最近、海外の金融機関の幾つかが破綻したニュースを聞きますので、きょうは皆さんの預金を保護してくれる預金保険についてお話ししたいと思います。

平成17年頃のペイオフ解禁時には大きな話題だったので皆さんご存知だと思いますが、日本を含む世界各国には金融機関が破綻しても預金が保護される預金保険制度があります。当座預金、無利息型の普通預金等の決済用預金は全額保護され戻ってきます。それ以外の預金等は一金融機関ごとに預金者一人当たり元本1,000万円までと金融機関の破綻日までの利息が預金保険で保護され戻ってきます。1,000万円を超える部分やそもそも保険の対象とならない外貨預金や譲渡性預金等の特殊な預金は破綻した金融

機関の財産の状況に応じて支払われるので、もちろんカットされることがあります。

預金保険は保険なので、無料ではありません。信用金庫業界では政府、日本銀行等が出資して設立した「預金保険機構」が制度を管理しており、同機構に対し金融機関が保険料を支払っています。保険料は保護の対象となる預金等の残高(営業日平残)に毎年「預金保険機構」が定める料率を乗じて各金融機関が算出しています。

金融機関が破綻した場合、各預金者の方の預金保険で保護される作業が行われます。その後、破綻した金融機関は預金保険による払い戻し業務を再開します。例えば金曜日に破綻した場合は月曜から払い戻しが始まるくらいのスピード感です。預金保険の対象外の部分は概算払いを除きその場での払い戻しでなく、裁判所の関与により法的に処理され、他の預金者と公平に支払いが行われます。借り入れをされている場合は預金保険で保護されない預金と相殺することで有利になることがあるかもしれません。

現在、日本も預金から投資へ舵が切られていますが、投資にはリスクのある商品もあります。預金は保険料と労力から一定の安心を提供していますので、今後も預金と投資をバランスよく利用していただければと思います。

■点鐘.....沈 会長

### 私の新人時代の失敗談

宮武直樹

私が僧侶になったのは23歳の時で、私の父は僧侶でしたが、お寺の子どもというわけではなく、僧侶になろうと思ったのも社会人になってからでした。なので宗門の大学などには行っておらず、知識も経験もほとんどなかったので、若い時は先輩について一緒に読経もしましたが、練習が不十分だったので、お経のCDを毎朝車で聞いて練習したりしていました。

なれないことが多くありましたが、最も苦手だったのは、葬儀の時、住職が七畳袈裟という法衣を着るのですが、一人では着ることができないので、役僧が服を着る順番や折り方を覚えなくてはいけないのですが、覚えられず再々練習しましたが、何回か間違えてしまい、そのまま気づかずに葬式をしてしまったことがありました。

また、僧侶になりたての頃、まだ読経も法話も自信がない中でお勤めをしていましたら、声が小さいと法話中に怒られたことがありました。

僧侶になって20年近くになりますので、あまり目立った失敗をする事はなくなりましたが、今でも法話は意識して大きな声で話をするようにしています。